

TOHOKU CPA NEWS

vol.217

2020
10.25

社会に貢献する公認会計士



撮影場所：趣きを変える道後温泉（撮影：宮城県会 大泉 裕一）

Contents

- 2～3 ー 会務報告 東北会会長 石沢 裕一
- 3 ー 東北会役員会だより
- 4 ー 東北会主な活動報告
新幹事就任 宮城県会 小山 かほる
- 5 ー 福島大学寄附講座「財務諸表監査論の集中講義」 後進育成委員会委員 高橋 和孝
- 6～7 ー 固定資産税等軽減制度のあらまし
- 8 ー J1・J2 新人自己紹介
- 9 ー 野坂会員（在住会員）の第48回協会学術賞受賞について
- 10 ー 特別寄稿「夏油温泉露天風呂の謎の石碑」 宮城県会 内田 貴和
- 11 ー 宮城県会ゴルフコンペ 宮城県会幹事 蒲倉 宏明
- 12～13 ー 日本公認会計士協会からの「IPO支援へのご協力のお願ひ」について
- 14～15 ー 第42回研究大会 研究発表の募集について
- 16 ー リモート委員会開催の報告 広報及び業務充実委員会委員長 古川 直磨
- 17 ー 会員情報の確認及び変更手続きのお願い
秋田県会 長谷部光哉先生から寄贈いただきました
- 18 ー 新型コロナウイルスの影響に伴う企業の決算対応等について
マロが行く～その26～ 広報及び業務充実委員会委員長 古川 直磨
- 19 ー 新任のご挨拶 東北会事務局次長 菊地 彰
会員の異動
- 20 ー 今後の予定・会員の分布状況
編集後記 広報及び業務充実委員会委員 三浦 直人

東北会 主な活動報告

第55事業年度第2四半期（2020年7月～9月）における東北会の主な活動は次の通りです。

- | | | |
|---------|--------|---|
| 2020年7月 | 6日(月) | 【仙台市長からの「起業家・中小企業の成長支援に対するご協力をお願い」についての対応】 |
| | 7日(火) | 選挙管理委員会メール開催 |
| | 22日(水) | 中小企業等CFO要請に対応する会員リストを作成、提供することを検討会員宛の協力依頼文書を策定、「東北CPAニュース」に掲載するとともに、送付時に依頼文書を同封して周知 |
| | 22日(水) | 東北CPAニュース第216号発行 |
| 2020年8月 | 1日(土) | 東北会役員会(会場：東北会事務局会議室/リモート併用) |
| | 6日(木) | 後進育成委員会メールで開催(東北学院大学・制度説明会の件) |
| | 28日(金) | 【仙台市長からの「起業家・中小企業の成長支援に対するご協力をお願い」についての対応】その2
会員宛7月22日発信の協力依頼文書について、その補足説明文書を発信 |
| 2020年9月 | 4日(金) | 宮城県会 役員会(メール開催) |
| | 7日(月)～ | 福島大学寄附講座「財務諸表監査論」 |
| | 11日(金) | (福島県会/佐藤成県会長が開講挨拶、会員5名が講師を務めた) |
| | 22日(火) | 山形県会ゴルフコンペ(蔵王CC：13名参加) |
| | 29日(火) | 中小企業施策委員会開催(会場：事務局会議室) |
| | 30日(水) | 広報及び業務充実委員会(リモート) |

新幹事就任

ごあいさつ

宮城県会 小山かほる

いつも大変お世話になっております。このたび幹事に就任した小山かほるです。東北会に入会して27年になります。子育ても介護も怪我も一段落したので、お引き受けすることにしました。女性役員がいないということで、幹事就任のお話がありました。私自身も研修会や総会など、男性がほとんどなので、なかなか参加しづらいと思っていました。しかし、はじめて研修会に参加したとき、綿貫一子先生が声をかけてくださったので、心強く思いました。前回の役員に綿貫一子先生、吉岡順子先生、青木智美先生がいらっしやっただので、総会も懇親会も参加しやすいと思いました。私も女性会計士が参加しやすい雰囲気を作っていきたいと思います。コロナ禍で行事が軒並み中止になっていますが、行事になるべく参加したいと思います。趣味は猫と水泳とランニング等です。どうぞ宜しくお願いします。



福島大学寄附講座 財務諸表監査論の集中講義

後進育成委員会委員 高橋 和孝

令和2年9月7日から令和2年9月11日の5日間、福島県福島市所在の国立大学法人福島大学にて日本公認会計士協会東北会寄附講座による「財務諸表監査論」の集中講義を実施しました。本講義は、現役の公認会計士がどのように企業の財務諸表監査を実施しているかについて学習することにより、福島大学経済経営学類の学生達が財務諸表監査の必要性と重要性を認識し、監査の基本的な考え方を理解して貰うとともに、講義を通して公認会計士の業務に興味を持って貰い、会計専門家を1人でも多く養成することをねらいとして平成25年から毎年実施しています。

本年は29名の学生が「財務諸表監査論」の講義を履修しました。同講義は福島大学経済経営学類における企業経営専攻学生のうち、3年生の専攻専門科目(希望すれば4年生も履修可能)であり、今年の企業経営専攻の3年生の全学生数は84名でした。

講義当日は、福島県会所属の須賀俊一会員、小山暢会員、鈴木康将会員、郡司拓也会員、高橋和孝会員の5名が、それぞれ1コマ1時間30分の講義を1日に3コマ実施し、5日間の合計で15コマの講義を実施しました。1日目は「公認会計士の業務と監査制度の概要」、2日目は「監査契約の締結、監査

計画の立案、リスクアプローチ、リスク評価手続」3日目は「内部統制の運用評価手続、実証手続、アサーション、監査技術、試査、監査調書の作成」4日目は「監査現場での実際の手続きの説明」5日目は「監査の総括、審査、監査報告書、監査意見の形成、追記情報、継続企業の前提、監査の失敗」をメインテーマに据えつつ、各講師の実体験を踏まえて講義を実施しました。

講義後に実施したアンケートの結果によれば学生の反応は良く、公認会計士の業務が高度な知識を必要とする専門性の高い業務であると共に、やりがいと社会的意義のある仕事であることが理解され、履修した多くの学生が公認会計士の業務に興味を持ったようでした。

今回の講義を受講した学生の中から、将来公認会計士として活躍する仲間が出ることを願いつつ、レポートを終了したいと思います。最後になりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、マスクの着用・手指の消毒・ソーシャルディスタンスの確保等を厳守した上での講義の全日程を無事に終えることができたこと、講義の実現のために尽力頂いた関係者各位にこの場を借りて御礼申し上げます。



挨拶する佐藤成福島県会長